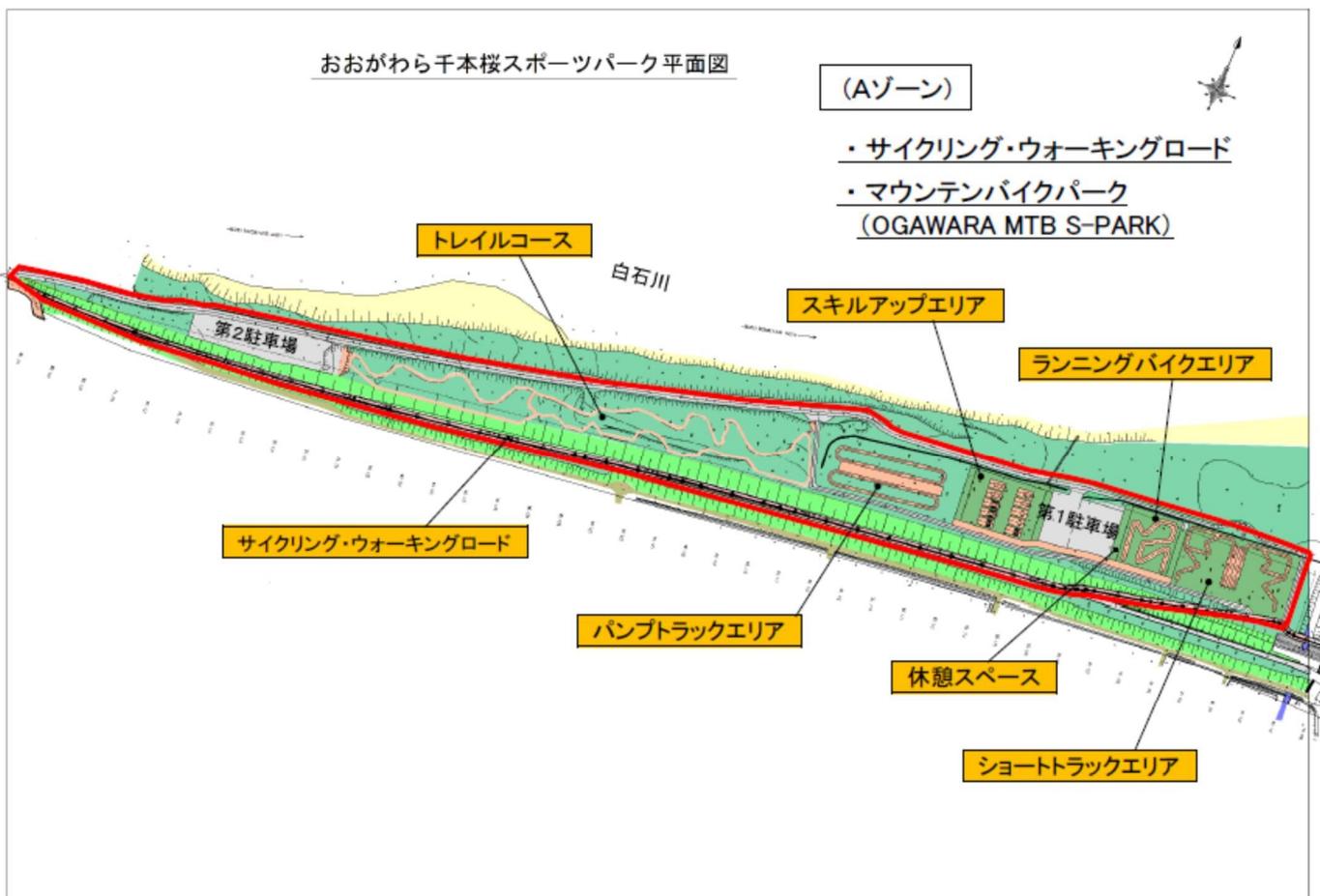


### 資料3 おおがわら千本桜スポーツパーク平面図

#### 【Aゾーン】

##### ・マウンテンバイクパーク

自然の地形を活かしたアクティビティなレクリエーションを行えるエリアにするため、MTBプロライダーの監修によるMTBコースやキッズバイクコースを整備（OGAWARA MTB S-PARK）。コースは、「パンプトラックエリア」「スキルアップエリア」「ランニングバイクエリア」「ショートトラックエリア」の4つのコースを整備し、日本最大の河川敷複合型MTBパークとする。



## 【Bゾーン】

- ・多目的広場（芝生広場）

デイキャンプやバーベキュー、芋煮会、各種イベント等で利用可能な芝生広場を整備。

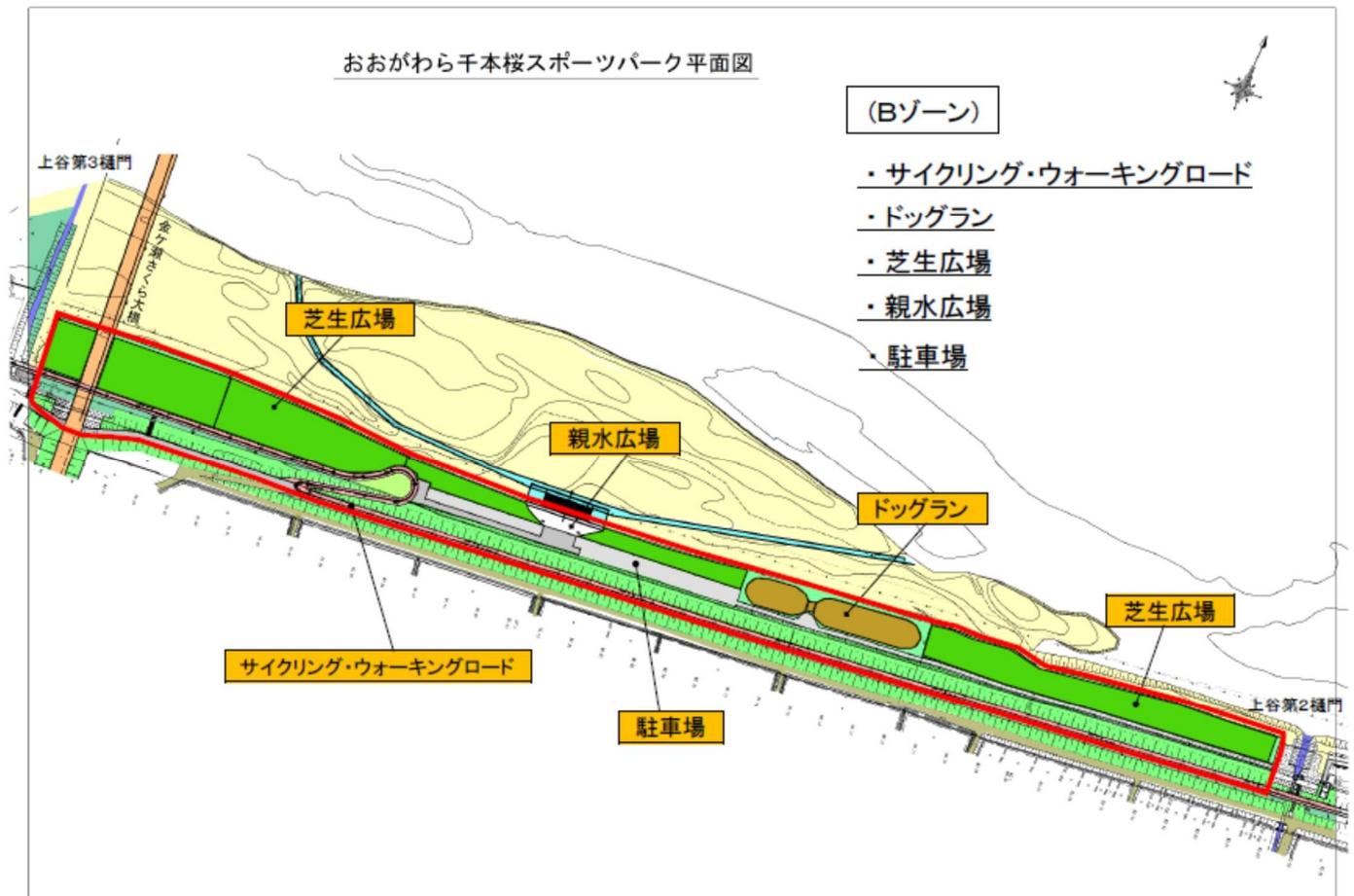
- ・ドッグラン

設置要望が多いドッグランを整備。小型犬から大型犬まで快適に利用できる施設とする。

また、施設利用者の車両を河川敷に進入させるため、通路や駐車場も合わせて整備。

- ・親水空間

子供が安全に水と親しめる親水空間を整備。



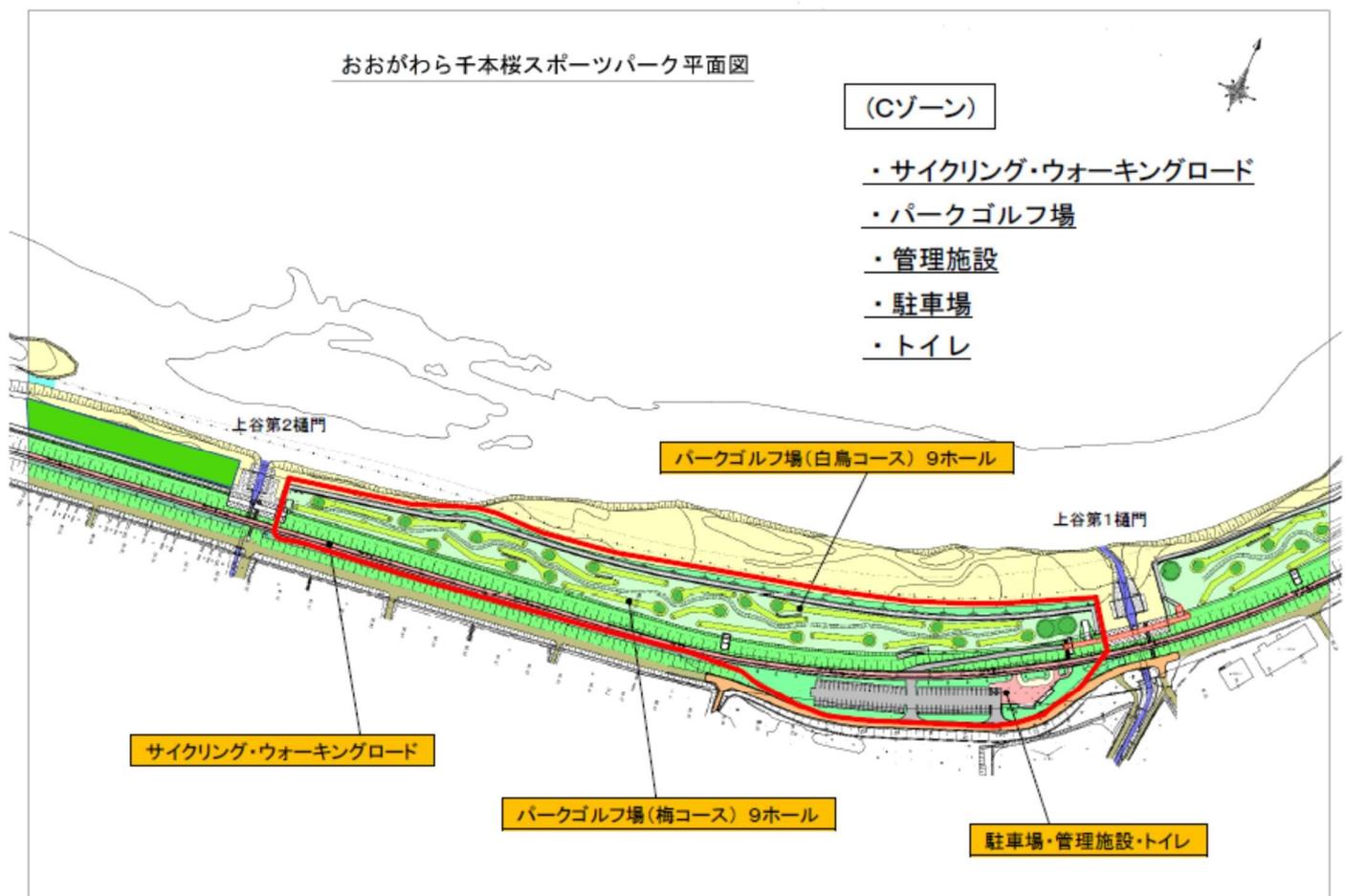
## 【Cゾーン】

### ・パークゴルフ場

河川敷の地形を活用し、蔵王連峰や白石川の景観を楽しみながらプレーできるパークゴルフ場をC・Dゾーンに整備。日本パークゴルフ協会の公認コースとして4コース 36ホールを整備。

### ・休憩スペース

Cゾーン堤内地側に天端と同じ高さまで盛土を行い、施設利用者のトイレや駐車場、パークゴルフ場管理施設を整備する。



## 【Dゾーン】

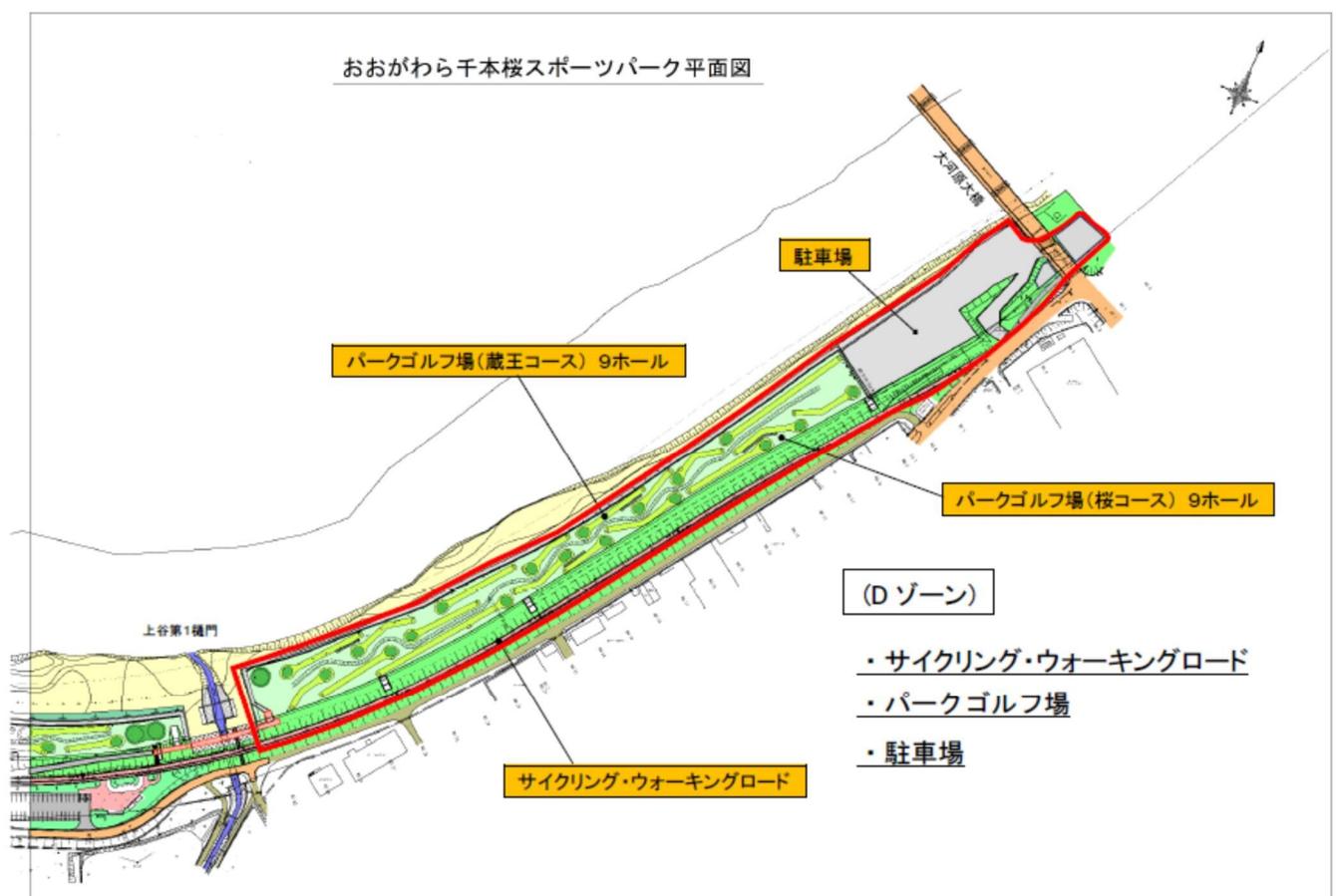
- ・パークゴルフ場、駐車場

C・Dゾーンにパークゴルフ場 36 ホールを整備。パークゴルフの大会や、さくら祭り等の各種イベント用に利用可能な駐車場を合わせて整備。

## 【堤防天端】

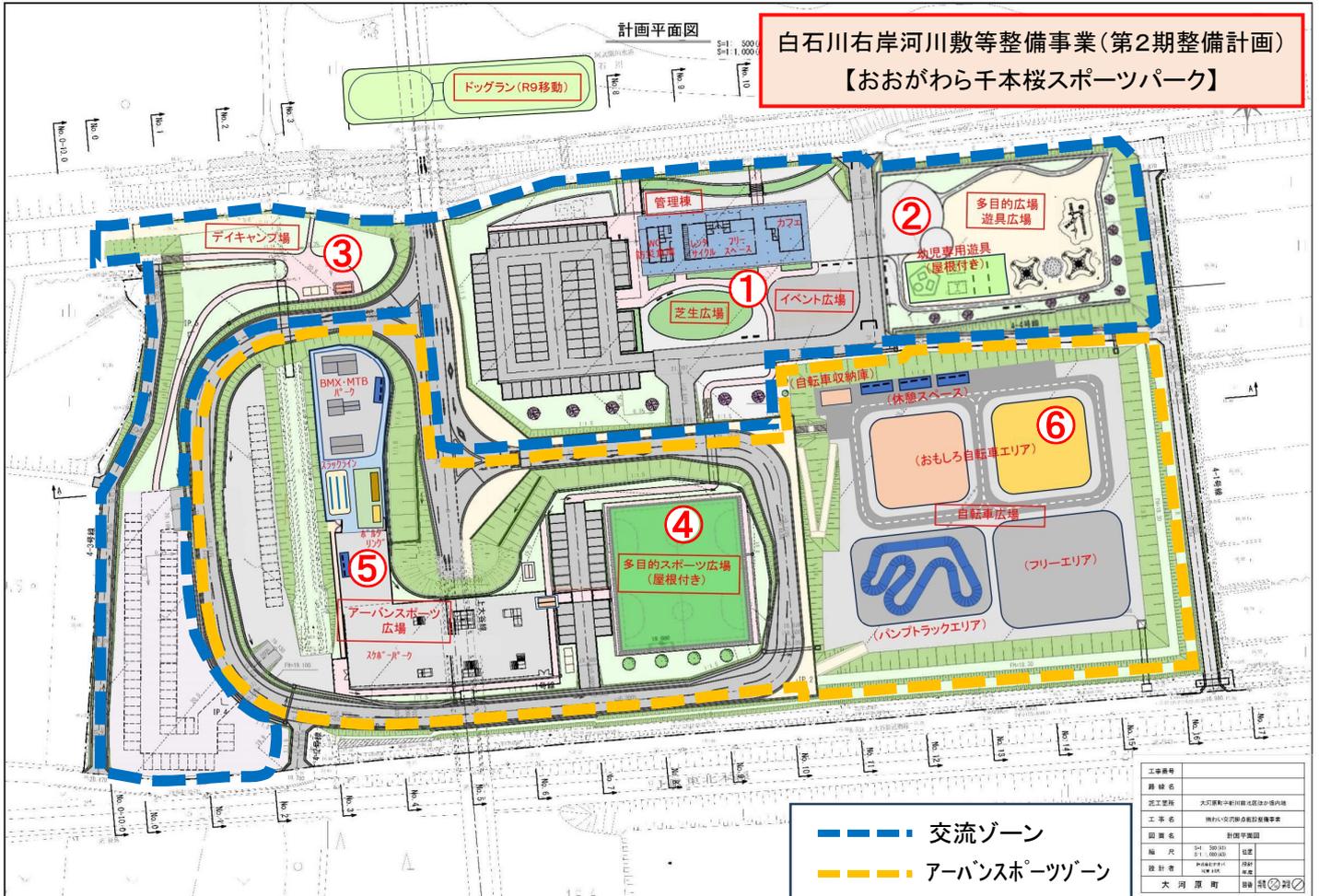
- ・サイクリング、ウォーキングロード

大河原大橋からJR神谷踏切までの全長約2.7kmについて整備。「みやぎ仙南サイクリングガイド」のコースに「おおがわら桜ライン」として登録。



【第2期整備計画】

令和5年度からの第2期整備計画では、第1期整備計画の整備エリアの効果を発揮させるため、白石川右岸河川敷の堤内地側約5.67haに、施設へのアクセス道や施設利用者の休憩スペース等の整備を行うとともに、第2期整備計画の基本コンセプトを基に、桜の伝承施設やカフェスペース、遊具広場、デイキャンプ場等を含む交流ゾーンと、アーバンスポーツ広場や多目的スポーツ広場、自転車広場等を含むアーバンスポーツゾーンの整備を実施する。



## 交流ゾーン

### ①管理棟、芝生広場、イベント広場

#### 【管理棟】

(カフェスペース) 軽食等の提供や物販等を行うカフェを整備。川側のオープンテラスからは、蔵王や白石川の眺望を可能とする。

(レンタサイクル管理室) レンタサイクルの貸出しスペースやメンテナンススペースを整備。公園内の移動や周辺を観光する手段としてレンタサイクルの利用や、サイクルサポート施設としてメンテナンスの場所や器具の貸出しを行う。

(桜の伝承施設) 一目千本桜の歴史や魅力、観光案内をデジタルサイネージ等の活用により紹介する、情報発信空間として整備。

(フリースペース) 有料の貸出しスペースとして整備。各種催事等の開催や、有料利用がない時間帯は、無料休憩所として活用。

#### 【芝生広場、イベント広場】

イベント広場は、芝生広場と合わせて週末やイベント開催時に、キッチンカーの出店や様々な興行が行なえるスペースとして整備する。

### ②多目的広場、遊具広場

多目的広場として、イベント等開催時に利用可能なスペースを整備すると共に、要望の多い大型複合遊具や屋根付き幼児専用遊具、インクルーシブ遊具等を設置することで、遊具広場も兼用する幅広い用途に利用可能なスペースとする。

### ③デイキャンプ場

要望が多いバーベキュー等を行えるデイキャンプ場を整備。管理棟から距離があるため、トイレ、洗い場等を設置。また、キャンプ用品のレンタルや食材、薪等の販売を行う。

## アーバンスポーツゾーン

オリンピックの正式種目にも採用されているアーバンスポーツは、若い世代が受入れしやすく愛好者が増加しており、スポーツツーリズムの新たな観光資源として注目されている。若い世代にも日常からスポーツを行う習慣を付け、将来に渡って健康な状態を維持させるためにも、アーバンスポーツ施設の整備を行う。

また、各施設共に入退場や使用料金の支払い管理をデジタル化し、利便性の向上や人件費の削減を図るため、スマートロックを導入することや夜間の利用を想定した施設整備を行う。

### ④多目的スポーツ広場

全天候型運動施設の設置要望が多いため、フットサルコート2面分に屋根を設置し、**多目的スポーツ広場**として整備する。床をハードコートで施工することで、3×3やバスケットボール、フットサル、テニス等、幅広い種目に対応する他、各種イベントや町の事業等、多目的な利用が可能な施設として整備する。

### ⑤アーバンスポーツ広場

町内のスケートボード愛好会からの要望や、愛好者が増加傾向にあることから、スケボーパークを整備し、加えてBMXやボルダリング、スラックライン等の施設を同エリア内に設置することで、様々なアーバンスポーツを体験できる「アーバンスポーツ広場」として整備する。

各施設共に、初心者から上級者まで幅広いレベルの方が気軽に利用でき、イベントやスクールの開催も考慮した施設整備を行う。

### ⑥自転車広場(調整池兼用)

調整池内に水がない時の施設を有効活用するため「自転車広場」を整備する。施設内には、様々な種類の自転車に乗れる「おもしろ自転車エリア」や、自転車の練習、イベント等、様々な利用を想定した「フリーエリア」、起伏のあるコース走行を体験できる「パンプトラックエリア」を整備する。

## その他施設

### ○便益施設（トイレ3箇所、駐車場198台）

施設利用者用駐車場を4箇所、トイレを3箇所配置し利便性の向上を図ると共に、イベント等開催時に備え、施設西側駐車場を大型車両も利用可能な駐車場とする。そのことに伴い、造成工事で整備する町道上大谷線の取り付け道路や施設内通路の一部を、大型車両が通行可能な仕様とする。